

習志野わくわくBOSAIフェア
(令和7年度習志野市総合防災訓練)
成果について

習志野わくわく BOSA I フェア（令和7年度総合防災訓練）の成果

目 的	「見に行き、体験して、楽しく学ぶ防災」をテーマに、参加者が楽しみながら防災に関する知識や理解を深め、防災意識の高揚を図るとともに、様々な訓練に参加・体験することをとおして、住民間の交流を深め、地域住民間の顔見知り関係の構築を図る。	
内 容	①市民初動訓練としてシェイクアウトの実施 ②市職員と関係機関及び市民の従事者等の協力による習志野わくわく BOSA I フェアの実施 ③災害医療本部と応急救護所及び習志野保健所等との災害医療に関する連携 ④医療的ケア者の自宅から福祉避難所までの避難訓練	
日 時	令和7年11月16日（日）午前10時00分～午前11時30分（1時間30分） ※市民初動訓練は、9時00分から開始	
会 場	26か所	市内公立小学校 16校／16校 市内公立中学校 7校／7校 市内公立高等学校 3校／3校
実施項目	市民初動訓練	シェイクアウト、脱出口の確保、火災予防措置
	習志野わくわく BOSA I フェア	①思い出を作ろう！フォトコーナー（消防・警察等の車両または仕事服を着て記念撮影） ②避難所ってどんなところ？（避難所生活空間の展示、在宅避難や備蓄品の啓発） ③わくわく体験コーナー（関係機関の協力による会場毎に異なる2つの防災体験） ④あそぼうさいコーナー（ペットボトルランタンの作成） ⑤お楽しみクイズラリー（会場内5箇所に設置された防災クイズ、景品あり） ⑥ペット同行避難訓練 ⑦炊き出し豚汁で温まろう！（※大久保小学校のみカレーを実施）
	医療本部・ 応急救護所訓練	応急救護所との通信確保、患者のトリアージ ※医療本部訓練は、市庁舎グランドフロア、応急救護所訓練は一、二、七中、保健会館で実施
	医療的ケア者の 避難行動訓練	自宅から「かがやきの郷福楽園」までの避難訓練を実施

習志野わくわくBOSAIフェア（令和7年度総合防災訓練）の成果

参加機関・団体

国	陸上自衛隊第1空挺団第3普通科大隊、航空自衛隊中部高射群第1高射隊、自衛隊千葉地方協力本部船橋出張所
県	千葉県企業局船橋水道事務所、千葉県葛南地域振興事務所、千葉県警察習志野警察署
他市	千葉市消防局
市	健康支援課、障がい福祉課、環境政策課、防犯安全課、習志野市企業局、習志野市消防本部、習志野市消防団
民間	連合町会、自主防災組織
	公益財団法人習志野市医師会、一般社団法人習志野市歯科医師会、一般社団法人習志野市薬剤師会、習志野市アマチュア無線非常通信連絡会
	一般社団法人千葉県助産師会、株式会社IDOM WOW! TOWN幕張、財団法人未来科学開発機構未来科学技研研究所、特定非営利活動法人日本災害救助活動支援隊、NTT東日本株式会社 千葉西支店、生活協同組合コープみらい、東京電力パワーグリッド株式会社 京葉支社、公益社団法人千葉県獣医師会京葉地域獣医師会、カインズ幕張店、イオンリテール株式会社 イオン津田沼店、京成電鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、WILD-1 幕張店、株式会社J:COM千葉 YY船橋習志野局、一般社団法人習志野市インフラ協議会、株式会社習志野都市開発センター、ドコモショップ津田沼店、auショップ 津田沼14号店、ソフトバンク新習志野店、株式会社アクティオ、アニコム損害保険株式会社、株式会社ユース、東邦大学災害支援学生ボランティア

習志野わくわくBOSAIフェア（令和7年度総合防災訓練）の成果

1. 参加者数

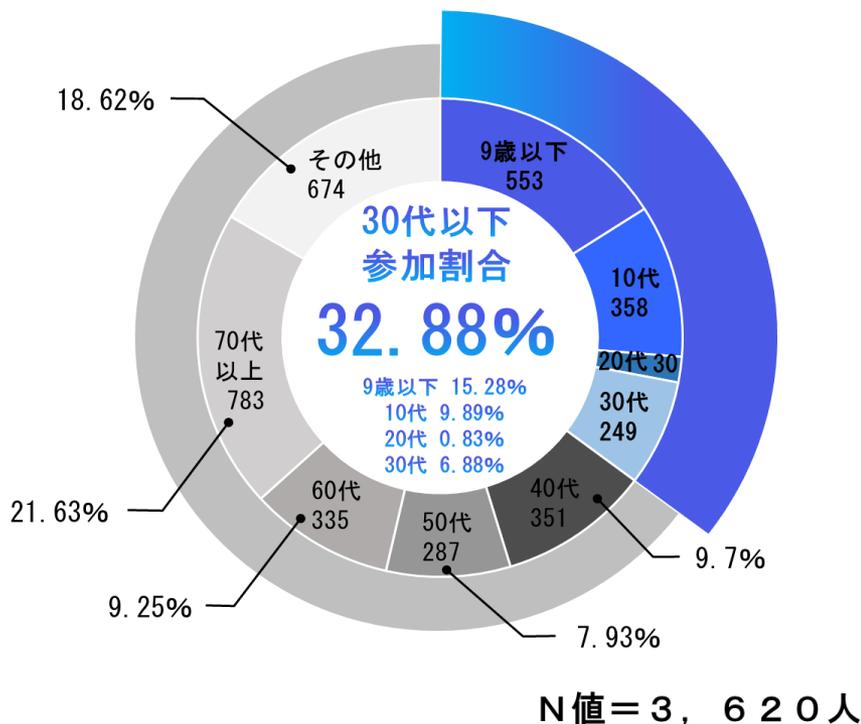
市民	関係機関・市職員	合計
3,620人 (前年比 +921人)	675人 (前年比 +95人)	4,295人 (前年比 +1,016人)

(R6 17機関⇒R7 33機関)

🐱 ペット同行避難の受入数 🐱

犬 33匹 / 15会場
(R6 犬・猫 42匹 / 16会場)

年代別参加状況



- 防災訓練への参加回数
約1,900人（約**54%**）が初めて防災訓練に参加
⇒町会等の統制がなく、自由に見て回れるブースを構成したことによるものと思料
- 30代以下の参加率
前年の約6%から約**33%**に大幅に増加
⇒未就学児・小学生と保護者・中学生の増加と思料
- 60代以上の参加者数
前年の約1,700人から約1,100人に減少
(推定値)
⇒若年層向けのコンテンツが増えたことや、従前の訓練要素が減ったことによるものと思料
- 他自治体からの参加状況
千葉市（1名）、船橋市（20名）の市民が参加
⇒内容を大幅に刷新したことによるものと思料

習志野わくわくBOSAIフェア（令和7年度総合防災訓練）の成果

2. フェアの満足度

今年度のフェアの満足度について、「大変満足」「満足」「普通」「不満」「大変不満」の5段階でアンケートを実施したところ、**約76%が「大変満足」「満足」と回答**

3. 一番満足度が高かった内容

今年度のフェアの中で一番満足度が高かった内容（思い出を作ろう！フォトコーナー、避難所ってどんなところ？、わくわく体験コーナー、あそぼうさいコーナー、お楽しみクイズラリー、炊き出し）についてアンケートを実施したところ、関係機関の協力により実施した「わくわく体験コーナー」が約24%と一番満足度が高かった

4. 課題（アンケート自由意見等）及び次年度への反映等

連番	区分	内容
1	訓練内容	(1) 一部の地域より、過去の訓練で実施していた次の二点を求める声があった。 ①安否確認訓練及び避難所等配備職員への報告 ②避難所運営委員会の設置及び開設訓練 反映⇒①②の訓練と今年度の楽しく学べる要素を取り入れたハイブリッド形式での課目構成
		(2) 「あそぼうさいコーナー」や「フォトコーナー」は主にこども向けの内容となっており、大人の実施するコンテンツがやや少なかった。 反映⇒幅広い世代が興味を持つような内容への見直し
2	案内表示	(1) 会場内の案内看板や案内人員の不足を指摘する声があった。 反映⇒会場内の案内表示の増設や会場マップの精査を検討
3	ペット関連	(1) ペットを係留する際の適切なスペース確保及びペット同行避難訓練の周知不足の声があった。 反映⇒ペットの飼養スペースの間隔や市HPでの周知方法を改善
4	各会場担当者数	(1) 今年度は内容を大幅に刷新したこともあり、会場を開設・運営する市職員及び市民従事者が不足していた。また、地域によっては、市民従事者の選出に難航した。 反映⇒避難所運営委員会の要員をもって役割分担を検討